

令和5年度有明・山鹿地域事業部 合同研修会 Web 研修開催(報告)

主催 (公社) 熊本県栄養士会 有明・山鹿地域事業部

日時 令和5年9月29日(土) 14:00~16:30

会場名 ZOOMによるオンライン開催

◇『地域ケア会議における栄養士の関わり～栄養士の視点を合わせるために～』

講師：医療法人 回生会 介護老人保健施設 太陽

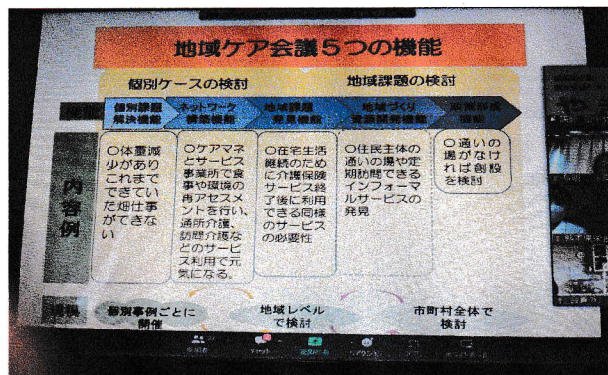
機能強化型認定栄養ケア・ステーションやまが 管理栄養士 田中 教子 先生

ZOOMによるオンラインでの開催となりました。会員31名(有明17、山鹿8、その他6)、会員外1名、計31名の参加となりました。

田中教子先生は、介護老人保健施設太陽に勤務しておられます。また熊本県栄養士会の理事で、栄養ケアステーションを担当されています。その他熊本市北区の地域ケア会議、熊本市短期集中栄養プログラムにも参加しておられます。資料は、明日から地域ケア会議に参加できるように作っていますと言われ、とても詳しくわかりやすいものとなっています。

地域ケア会議に参加する前に、その地域がどんなところか知りましようと言われました(高齢化率、交通の便、どんな環境か、総合事業サービスにどんなものがあるかなど)。地域ケア会議の目的、地域ケア会議の機能、地域ケア会議の流れ、地域ケア会議の出席者の心得、地域ケア会議の資料、資料を確認するポイント、ケアプランを見て確認すること、助言の目的とポイント、地域ケア会議の最終目的等を順序よく詳しく説明されました。

多職種の実践可能な助言にて、事例課題が自助、互助、共助、公助にて改善、解決され、その方が今まで通り、その地域で自分らしく生活できるようになってもらうという地域ケア会議の意味、必要性が理解できました。ちょうど私の親世代が、軽度認定者でお世話になるのだろうと思いながら聞いていました。地域ケア会議については聞き慣れない、よくわからないといった部分がありましたが、この研修を受けて少し身近に感じました。課題の原因が何なのかを短時間で判断し、わかりやすい言葉で、実践可能なアドバイスを行うことは並大抵のことではなく、経験の積み重ね、自己研鑽と栄養士間での情報の共有が重要だと理解できました。田中先生、本日は貴重な講演をいただき誠にありがとうございました。



オンラインでの受講